



**洞戸円空記念館20周年記念「円空シンポジウム」開催**  
円空学会顧問の長谷川公茂さんの基調講演や俳優の井浦新さんらを招いてパネルディスカッションを開催。話題となった「うまい仏」の作者・現代美術作家の河地貢士さんのパフォーマンス、ワークショップも行われました。



**読書推進イベント「ほんのいっせき」開催**  
市民に本を親しんでもらうため、タレントで絵本作家のブラザートムさんと、市出身の作家・クリエイティブディレクターの栗山圭介さんが本の魅力を語る対談ライブが行われました。

**公共施設の複合化進む**  
板取めばえ保育園を板取小学校の校舎内に移設。児童発達支援施設「西親子教室」が武芸川事務所の改修に伴い併設されました。



**刀剣関連で25年ぶりに認定**  
刀匠の尾川光敏(刀匠名:兼國)さん、柄巻師の遠山康男さんを関市重要無形文化財保持者に認定しました。



**東本郷鑄物師屋線の一部が開通**  
都市計画道路「東本郷鑄物師屋線」の東新町7丁目から鑄物師屋2丁目までの区間(681m)が開通しました。



**後世に残したい伝統の技「小瀬鵜飼」**  
「長良川の鵜飼漁の技術」が、農林水産業にかかわる技術の指定としては日本で初めて、国の重要無形民俗文化財に指定されました。



**第21回全国鵜飼サミット関大会開催**  
全国13か所の鵜飼関係者が一堂に会し、伝統文化の保存と継承、鵜飼を活用した観光振興と展望などについて意見交換が行われました。



**清流長良川の鮎が世界に認められる**  
イタリア・ローマの国際連合食糧農業機関(FAO)で開催された世界農業遺産運営・科学合同委員会にて「清流長良川の鮎」が世界農業遺産(GIAHS)に認定されました。



**「NHKのど自慢」が開催される**  
市合併10周年を記念して「NHKのど自慢」の公開放送が文化会館で行われました。



**刃物がない世界だったらどうなる!?「もしものハナシ」が話題に**  
刃物が存在しない虚構の世界を描いた市のPR動画を制作。インパクトのある映像に全国から注目が集まりました。



**五郎丸選手のポーズにそっくりの仏像が人気に**  
両手を組んだ形がラグビー日本代表で活躍した五郎丸歩選手のキック前のポーズに似ていることから、関善光寺「宝冠大日如来」が話題となり、多くの観光客が訪れました。

- ◆ 2015年(平成27年)
- 1月 ◆ うまい仏〜円空が眠るまち・岐阜県関市の現代アート展〜開催
  - 2月 ◆ 都市計画道路「東本郷鑄物師屋線」一部区間開通  
NHKのど自慢 開催
  - 3月 ◆ 第6期介護保険事業計画「老人福祉計画策定」  
小瀬鵜飼「長良川の鵜飼漁の技術」が国の重要無形民俗文化財に指定される  
桜ヶ丘小学校サントリーカップ全国小学生ラグビー選手権大会ポルトナメントで1位に  
読書推進イベント「ほんのいっせき」開催
  - 4月 ◆ 板取めばえ保育園が板取小学校へ複合化移転  
移住定住プロモーション  
「SEKOURA-LIFE」開始  
児童発達支援施設「西親子教室」が武芸川事務所内に併設  
関市総合福祉会館内に関市生活支援相談室を開設  
中池公園エラスコート リニューアルオープン
  - 5月 ◆ 保護観察対象者等の就労支援に関する協定締結
  - 6月 ◆ 「関市の水道水」をペットボトル製品化  
関市消防団 総務大臣感謝状受賞
  - 7月 ◆ 関市プレミアム商品券を発行  
第21回全国鵜飼サミット関大会を開催
  - 8月 ◆ 関商工高等学校 各部活動が年間を通して全国大会出場  
洞戸円空記念館開館20周年記念「円空シンポジウム」開催  
関市定住促進奨励金の交付第1号贈呈式
  - 9月 ◆ 関市長選 尾関健治氏が再選  
地方創生 三市(関市・美濃加茂市・各務原市)連携協定締結  
関市重要無形文化財保持者認定(尾川光敏さん・遠山康男さん)
  - 10月 ◆ 家庭「ごみ有料化」を議決  
板取「名もなき池(通称モネの池)」・関善光寺「宝冠大日如来(通称五郎丸ポーズの仏像)」が人気スポットに  
関市PR動画「もしものハナシ」制作リリース  
景観計画の策定 景観条例の運用開始  
関市ふるさと納税 関市×美濃加茂市×岐阜高島屋コラボ企画  
曾代用水が世界かんがい施設遺産に登録
  - 11月 ◆ マイナンバー(個人番号)通知カード送付  
地方創生 クラウドファンディング事業開始  
選挙管理委員会がマニフェスト大賞  
「優秀シチズンシップ賞」を受賞  
一般社団法人関市ビジネス支援機構を設立
  - 12月 ◆ 清流長良川の鮎 世界農業遺産認定



2015  
〈平成27年〉

世界に認められた  
長良川の鮎と小瀬鵜飼  
円空シンポジウム開催で  
伝統を深く知る機会も